

議題4

平成24年12月26日
京都市保健所

京都市保健所 平成24年度新規事業について

京都市保健所においては、市民のいのちと健康を守るため、平成24年度から実施している主な新規事業については、以下のとおりです。

記

1 成人用肺炎球菌ワクチン接種の一部公費負担(33,600千円)

市民のいのちと健康を守るため、肺炎による重篤化が懸念される方を対象に、肺炎の重症化予防に加えて医療費抑制にも効果のある成人用肺炎球菌ワクチンについて、接種費用の一部を公費負担する。

○実施：平成24年9月3日～

○対象：75歳以上の市民のうち、内部疾患（心臓、腎臓、呼吸器等）による障害者手帳（1級～4級）の交付を受けている方

※過去5年以内に同ワクチンを接種した方は、副反応が強く出ることがあるため、対象外

○費用：4,000円（市・府民税非課税者…2,000円、生活保護受給者等…無料）

2 前立腺がん検診の一部公費負担(54,200千円)

前立腺がんは、男性では4番目に多いがんとなっており、初期段階では自覚症状がないとされていることから、新たに前立腺がん検診の検診費用の一部を公費負担することにより、受診率の向上を図り、早期発見・早期治療につなげる。

○実施：平成24年10月1日～

○対象：50歳以上の男性で、年内に偶数の年齢になる市民

※2年に1回の受診

○費用：1,500円（市・府民税非課税者…800円、生活保護受給者等…無料）

3 大腸がん検診の個別医療機関実施(47,534千円)

より多く方に、大腸がん検診を受診していただけるよう、新たに個別医療機関（病院・診療所等約400箇所）においても大腸がんの検体受付を開始し、受診者の利便性向上及び受診者の増加を図る。

○実施：平成24年4月～

○対象：40歳以上の市民

○費用：300円（市・府民税非課税者、生活保護受給者等は無料）

4 休日がんセット検診の拡充 (3,385 千円)

平日に就労されている方等のがん検診の受診機会を更に拡大するため、日曜日のがん検診（胃，大腸，肺）を，昨年度よりも実施回数を増やして実施する。（月1回⇒月2回程度）

○実施：平成24年5月～

○対象：40歳以上の市民

○費用：1,300円（胃・大腸・肺がん検診受診の場合）

※市・府民税非課税者，生活保護受給者等は無料

5 京都市民健康づくりプランの推進 (6,248 千円)

平成14年3月に「京都市民健康づくりプラン」を策定し，「栄養・食生活」，「休養・こころの健康」，「歯の健康」，「喫煙」等の分野ごとに，重点方針と数値目標を掲げ，市民の自主的な健康づくり活動を推進している。

平成24年度は，同プランの計画期間が最終年度を迎えることから，病気の有無に関わらず，すべての市民が自身の状況に応じて健康づくりを実践することができるよう，更なる取組の充実が求められる「身体活動・運動」，「飲酒」等の分野について新たな行動指針を策定する。

6 母子保健通訳派遣事業の充実 (1,248 千円)

これまで母子保健事業の一部に実施していた通訳派遣を，全ての母子保健事業に対象を拡大することにより，外国籍等の母親の不安の軽減を図るとともに，妊娠から出産・育児期まで切れ目のない支援を行うことで，子どもの健やかな成長発達を目指す。

○実施：平成24年4月～

○対象：日本語での意思疎通が困難で周囲に支援者がいない母親

○費用：無料

7 妊娠・不妊・不育に関する相談体制の充実 (32,256 千円)

妊娠に悩む方に対する相談体制の充実が全国的にも課題となっていることから，平成24年度から，新たに電子メールによる相談窓口を設置するとともに，周知カードの配布等により相談機関の周知を図り，妊娠早期からの相談支援体制を確立する。

○実施：平成24年11月1日～

○対象：京都市在住者で，妊娠や出産に悩む方及び家族等

○費用：無料

8 動物愛護センター（仮称）整備事業 (37,600 千円)

京都市の動物愛護行政の拠点施設として，夜間動物救急診療所やドッグラン・動物ふれあい広場等を併設する「動物愛護センター（仮称）」を整備する。

平成24年度から，同センターに係る基本設計及び実施設計を行い，平成26年度の開設を目指す。